

令和6年度ホタテガイ採苗情報（第12報）

令和6年7月2日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：広域振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



少量ながら、ホタテガイの付着稚貝の出現が継続しています。

< 調査結果の概要 >

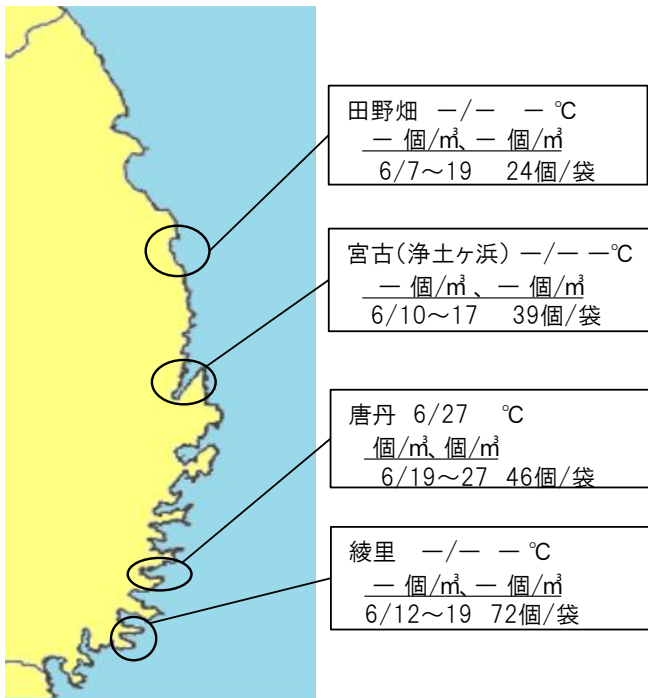
- 6月27日の唐丹湾の10m深の水温は15.5℃、透明度は13mでした。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが7個/m³（昨年同時期：55個/m³）、200μm以上の大型のラーバが0個/m³（同：9個/m³）出現しました。
- その他のラーバ出現数は、ムラサキイガイが46個/m³、キヌマトイガイが22個/m³、エゾイシカゲガイが6個/m³、その他が17個/m³でした。
- 唐丹湾では、付着稚貝の出現が継続しています。

< 噴火湾の状況（ホタテガイ採苗情報第13号（6月26日発行）） >

- 付着稚貝（垂下期間：6月17・18～25日）は例年より少ない（102、293個/袋）。

< 陸奥湾の状況（ホタテガイ採苗情報第12号（6月27日発行）） >

- 付着稚貝（垂下期間：4月中・下旬～6月下旬）は平年（約11～30万個/袋）よりは少ないが、昨年（2,912、3,638個/袋）よりは多い（8,739、112,329個/袋）。
- 平年（平均：1.99～2.71mm）より殻長が大きい（平均：3.44～4.31mm）。



調査点 調査日 水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、7月5日頃に
発行する予定です。

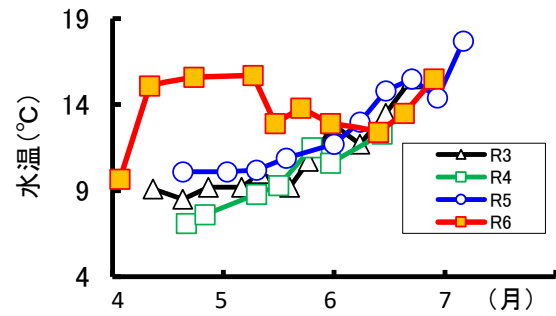


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

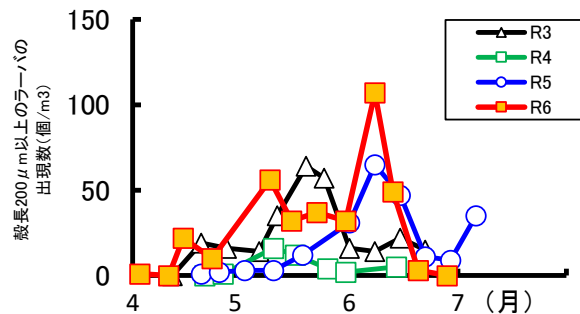


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

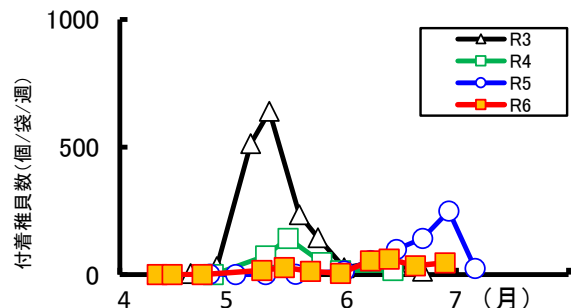


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ稚貝付着数